

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年 3月13日 (木)

2 確認箇所

地下水バイパス一時貯留タンクエリア (図1)

3 確認項目

地下水バイパスの排水状況

4 確認結果の概要

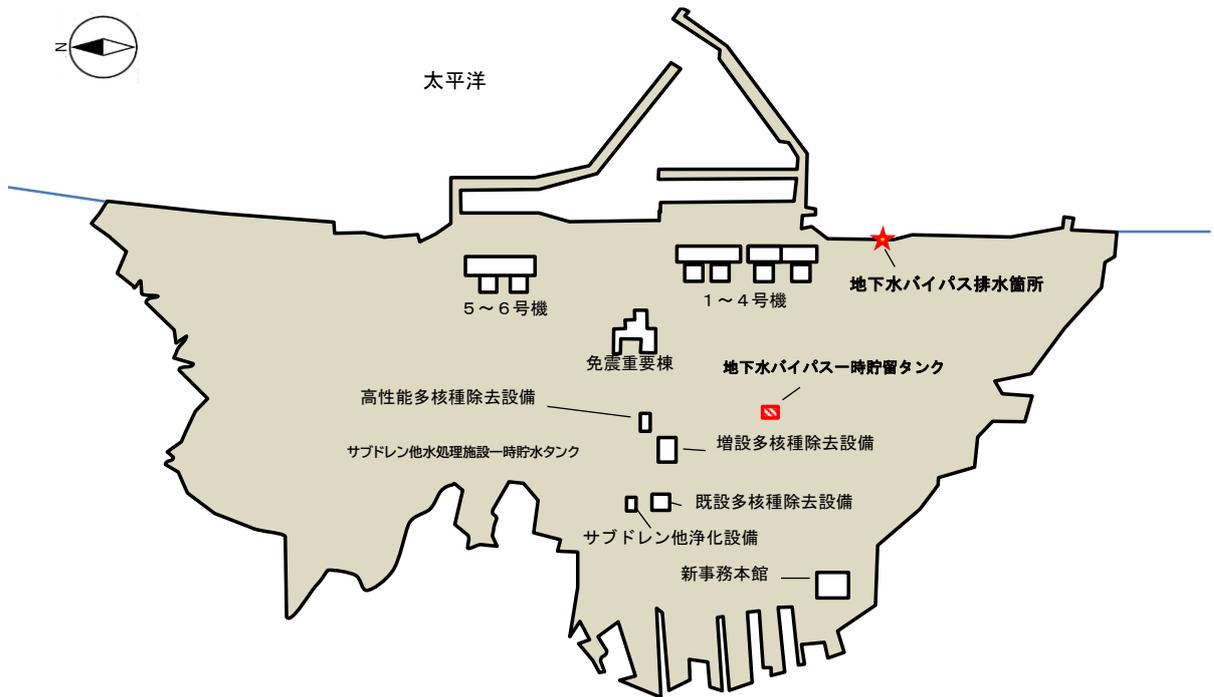
福島第一原子力発電所では、原子炉建屋等に流入する地下水量を低減させるため、地下水バイパスやサブドレン他水処理施設などを設置し、基準を満足した地下水を定期的に海洋へ排水している。

今回は、地下水バイパス一時貯留タンクからの排水が予定されていることから、その状況を確認した。(前回確認：[令和6年12月5日](#))

地下水バイパス一時貯留タンクは全9基からなり、3基毎にグループ1から3までに分けられている。今回はグループ3からの排水が実施された。

(写真1)

- ・東京電力社員が、排水を行わないグループ1及び2の排水弁が「全閉」となっていることを確認していた。(写真2)
- ・東京電力社員が、排水を行うグループ3の排水弁を「全閉」から「全開」にする作業を実施した。(写真3)
- ・免震重要棟集中監視室からの遠隔操作により排水ポンプが起動した。その後、東京電力社員がポンプ起動後の状況や、ポンプ、周囲の配管に異常が無いことを確認していた。(写真4)
- ・排水開始後、目視の範囲で異常は確認されなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
地下水バイパス一時貯留タンク
エリアの外観



(写真2-1)
排水しないグループ1及び2の
排水弁の「全閉」確認状況①



(写真 2-2)
排水しないグループ 1 及び 2 の
排水弁の「全閉」確認状況②



(写真 3)
排水弁の「全開」作業状況
※今回排水対象としているグループ
3 排水弁の状況



(写真 4)
排水ポンプ起動後の確認状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。